会　議　記　録

会議名	平成27年度第2回魅力ある屋島再生協議会
開催日時	平成27年12月24日(木)　10時00分～11時10分
開催場所	高松市役所
議事	(1)特別部会（協議会運営検討部会）の検討結果及び確認事項について ①協議会の目指す方向性について ②組織の役割・体制について ③先進地視察について (2)魅力ある屋島再生協議会会則の改正について (3)その他 ①屋島山上案内看板　統一デザイン等について
公開の区分	■　公開　　□　一部公開　　□　非公開
上記理由	
出席委員	佃委員（会長）、池本委員、岡委員、 小川委員（代理：穴吹委員）、佐々木委員、 佐藤委員（代理：加藤委員）、佐野委員、 四之宮委員（代理：斉藤委員）、城下委員、新福委員、 十川委員、高橋委員、長谷川委員、森委員
欠席委員	岩佐委員（副会長）、尾野委員、塩野谷委員、原委員、増田委員、三谷委員、宮武委員
傍聴者	0人
担当課および連絡先	政策課　839-2135

審議経過及び審議結果

次の議事について協議し、下記の結果となった。

議事(1)　特別部会（協議会運営検討部会）の検討結果及び確認事項について
※資料1・2・3・4参照

平成27年度第1回の魅力ある屋島再生協議会で特別部会を設置し、同協議会のこれまでの成果、課題点を整理し、その目的や来年度以降の新たな組織の運営体制の検討・調査を実施し、下記のとおり報告した。

検討結果及び確認事項

①　組織体制の見直し

・各部会（にぎわい創出部会、文化財保存・活用部会、情報発信・施策調整部会）は、一定の役割を果たしたということで、これまでの成果と課題を取りまとめた上で、3年間の活動期間を終了する。

・平成28年度からは、魅力ある屋島再生協議会（親会）と協議会運営部会（部会）で構成する組織体制とする。

審議経過及び審議結果

② 協議会の目指す方向性について
・引き続き、屋島活性化基本構想の進行を管理していくとともに、各種施策の事業化・予算化の提案ができるような、民間主体の活動となるよう目指していく。
・本協議会の委員に屋島寺、オブザーバーに環境省を加え、環境省が設置を計画している「屋島集団施設地区における管理運営に係る協議会」の役割を担うことを検討する。
③ 先進地視察について
・先進地視察として、有馬富士公園の取り組みを視察する。

【主な質疑・意見等】
（委員）
・魅力ある屋島再生協議会と源平屋島地域運営協議会との連携やかかわりはどうなるのか。
（事務局）
・源平屋島地域運営協議会は、主に観光振興に取り組むものである。
・魅力ある屋島再生協議会は、源平屋島地域運営協議会との連携を図りながら、屋島の活性化について全般的に取り組む。
（会長）
・史跡天然記念物であるため、屋島は規制が多いが、その中で自然や歴史をどう残せるか、方向性を定めていくのが魅力ある屋島再生協議会であると考えている。
・源平屋島地域運営協議会は、具体的な事業を実施している。
（委員）
・3部会の報告を聞いて、現状がよくわかった。それぞれ頑張ってはいるが、決め手が無い。世界に発信するためには、今までとは別の視点が必要である。
・世界ジオパークが、11月にユネスコの正式なプログラムになり、世界遺産と同格になったため、屋島を含むさぬきジオパーク構想が、世界ジオパークに認定されれば、屋島を世界へ発信できる。なかなか進展しないが、できることからやっていけばよいと考えている。
（会長）
・今後、魅力ある屋島再生協議会の委員に屋島寺とオブザーバーに環境省を加えることによって、しっかりサポートできると思う。

審議経過及び審議結果
議事(2)　魅力ある屋島再生協議会会則の改正について　※資料5参照 ・議事（1）の特別部会からの報告を踏まえて、本協議会の会則改正（案）を事務局から説明。委員からの質疑・意見等はなく、改正案のとおり承認された。 **議事(3)　その他　※資料6参照** 屋島山上案内看板　統一デザイン等について ・以前からの課題であった屋島山上に乱立する標識類について、国・県・市で協議を行い、今後、新たに設置する場合、統一した仕様で整備を実施するとした方針が、事務局から報告された。 **【その他の主な質疑・意見等】** **（委員）** ・水族館の廃止の件、ビジターセンターの件、ジオパークの話等、魅力ある屋島再生協議会との関係やかかわり方をお示しいただきたい。 **（会長）** ・水族館については、色々な方面にかかわってくる問題である。そのため、この会でできるのは、皆さんの意見を聞くことではないかと考える。 ・屋島の歴史と天然記念物は、ワーキンググループを作って議論し、それぞれの魅力が引き出せるようにしたいと考えている。 **（事務局）** ・水族館は、12月議会で考えを示したところである。今後本市において、水族館の整備について、屋島山上も候補に含め立地条件、集客性などの多面的な調査を行い、来年度中を目処に一定の結論を出していきたい。 ・屋島山上拠点施設は、現在、基本設計を行う設計事務所を募集している。462件の応募があり、最終的に海外からの6件を含む213件にものぼる多数の提案があった。整備予定地からの素晴らしい眺望をいかしたもの、自然公園に見事に調和させたもの、ユニークで段差のある敷地形状を利用したもの等、多種多様の魅力的な提案があった。11月29日に提出された書類を審査し、2次審査に進む6件が決定している。来年の1月中旬に、プレゼンテーションと、ヒアリング審査をし、基本設計業務の契約候補者となる最優秀者を決定することになっている。 **（委員）** ・水族館が残ることになった場合、ドライブウェイにも絡むことなので、魅力ある屋島再生協議会でも議論されるのか確認したい。 **（会長）** ・何らかの形で絡んでいくと思う。

審議経過及び審議結果
（委員） ・44の個別事業の整理が終了し、次のステップに入るが、屋島のポイントになる部分をいくつかに絞っていくべきである。そのひとつひとつをどう充実させるか、プロジェクトで議論すればバランスがとれて全体的なまとまりがでてくるのではないか。 **（佃会長）** ・史跡天然記念物の規制があり、できないことも多いが、提案型の会議として、皆さんの力で前へ進めるようにしていきたい。 **（委員）** ・屋島山上案内看板については、説明が古かったり、間違えていたりするので、外観だけでなく内容も見直して欲しい。また、その場所にふさわしい看板が、別の離れた場所にあったりするので、その場所にふさわしい説明看板を設置して欲しい。 **（委員）** ・四国八十八景プロジェクトという事業を実施している。ビューポイントの選定で、四国の田園風景を、国内、海外に発信していきたい。2020年のオリンピック、パラリンピックに合わせて観光客増加を目指してH27/12/1からH28/5/31まで募集している。景環境、指定を管理しているところの管理者が応募することになっているので、ぜひみなさんに御応募いただきたい。 ―以上で審議終了―